

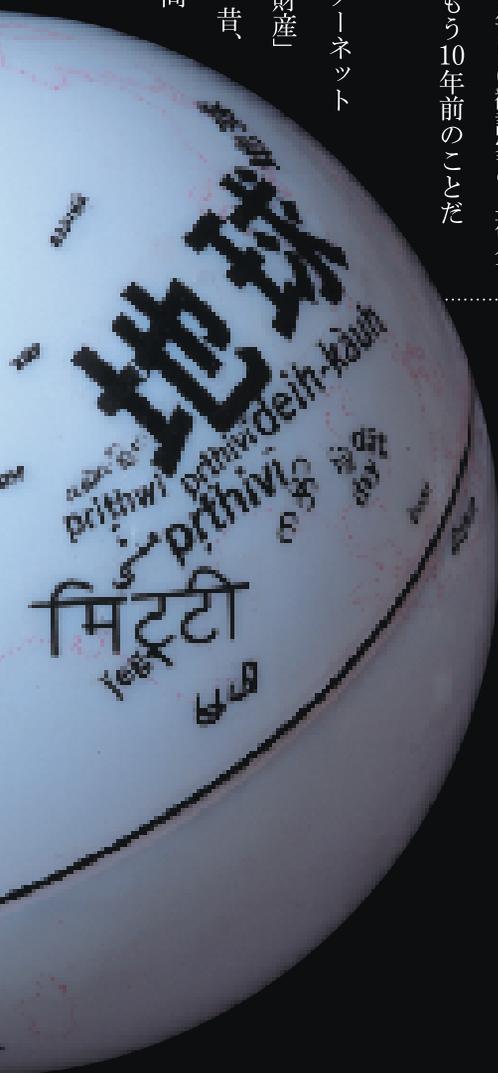
管啓次郎

多
言
語
が
踊
り
出
す

テレビ放送開始を覚えているほどの歳ではない。幼稚園のころ東京オリンピックを白黒放送で見、4年後のメキシコになると画面はカラーになっていた。語学の勉強に興味をもつと、ペラペラのソノシート（ビニール製レコード）をくりかえし聴いた。ねだって買ってもらったオープンリールの録音機は数年のうちにカセットに代わり、大学時代にはヘッドホンステレオで音楽を楽しむ第一世代となり、すぐにCDの時代、ビデオの時代が訪れた。技術はどんどん変わり、それにつれて心も変わる。流れこんでくる映像・言葉・音楽によって、「私」は変貌を続ける。

けれどもこの心の状態変化に、インターネットほど大きな影響を及ぼした技術は他になさそう。1993年、シアトルからアリゾナの砂漠に引越したとき、はじめはファクスで論文をやりとりしていた。翌年から本格的に電子メールを使いはじめた。日本人留学生「かねこさとる」からブラウザというものを教えられ、ウェブページをはじめて見た。'96年には東工大の友人がぼくの「ホームレス・ページ」をつくってくれて、'97年には翻訳家の巨敬介と「Taxii!」という英語によるウェブ雑誌をはじめた。それがもう10年前のことだなんて。人生は短い。

技術にまるで疎いぼくだが、言語と文学に興味があるので、インターネットが何か全く新しい局面を開いたことは、おぼろげにわかった。「私有財産」や「個性」という観念が印刷術を手段として発展してきたことは、昔、マクルーハンが指摘していた。文学の「著者」とか「独創性」が問題になるのは消費社会Ⅱ文化の中でのことにすぎない。言葉の技芸





表紙©武満徹 From me flows what you call Time
©1990, Schott Japan Company Ltd.
資料提供=日本ショット株式会社

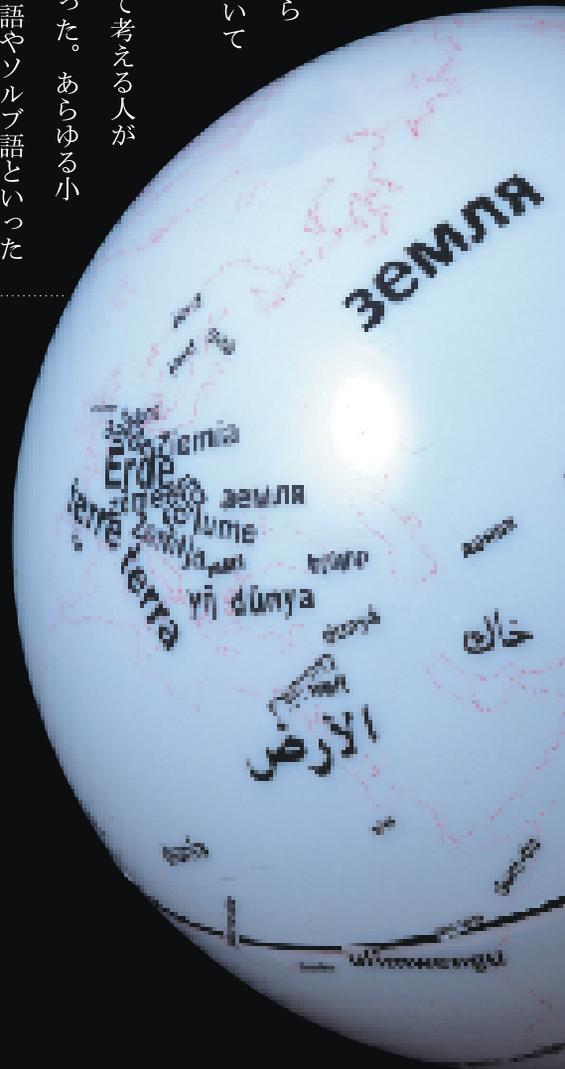
すが・けいじろう……1958年生まれ。翻訳者、エッセイスト、比較文学者。明治大学理工学部教授(総合文化)。フランス語圏カリブ海文学、民族誌論、チカーノ文学、アメリカ・インディアン文学、比較文化論などを教える。著書に、『狼が連れだって走る月』(筑摩書房)、『トロピカル・ゴシップ』(青土社)、『オムニフォン』(岩波書店)、『ホノルル、ブラジル』(インスクリプト)、訳書にマウラーナとバレーラ『知恵の樹』(朝日出版社)、グリッサン『〈関係〉の詩学』(インスクリプト)、ベンダー『燃えるスカートの少女』(角川書店)など多数。

は、もともともっと自由に、口伝えでまねされ、つくり替えられ、飛び火し、広まっていたはずだ。そんな過去が、ちょっと取り戻された。インターネット上の文学は、模倣と剽窃ひしやせつの劇場、虚栄心の祭壇に転落する危険をつねにはらみつつ、「詩は万人によってつくられなくてはならない」(ロートレアモン)という理想に大きく近づいてもいる。

そして言語。'90年代、インターネットを英語の覇権とむすびつけて考える人が多かったのは、いまから思うと笑い話だ。事態はそうは展開しなかった。あらゆる小さな言語、追いつめられた言語が、反撃を開始したのだ。オクシタン語やソルブ語といったヨーロッパの地方語、マオリ語やラパマイ語といった太平洋言語、ナバホ語やラコタ語といったアメリカ先住民言語にとって、地域メディアと惑星メディアの区別をなくすインターネットの力は、きわめて効果的で使い道がある。

そんな実験は、まだはじまったばかり。インターネットによる諸言語の革新と再生は、これからいっそう本格化するだろう。聴いたことのない言葉の音声も聞ける。それを話す人々の表情や生活が画像で見られる。アクセス可能な多言語空間がふくらみ、創造性が爆発する。語学好きにも文学好きにも、面白い時代が訪れたみたいだ。

インゴ・ギュンター「80言語の地球」 PPS



C o n t e n t s

- 2 技術に会う 8
多言語が踊り出す 管啓次郎
- 4 HITACHI FILE talk+
 - 1 研究開発をマーケットへつなぐ
——目指すは、一家に一台!?
「光トポグラフィ」
長谷川清
 - 2 石崎イズムで昇格の柏レイソル、
J1での挑戦が始まる
石崎信弘
- 8 特集 日立の頭脳——「中央研究所」の研究
 - 8 異分野が融合・横断するダイナミズム
こそ、研究開発の原動力。 福永泰
 - 10 中研R&D 1 生体を情報化する
ヒトゲノムの完全解読を導いた
……DNAシーケンサー 神原秀記
 - 13 中研R&D 2 情報環境のステージを開く
情報端末の進化を牽引する
……マイクロプロセッサ 内山邦男
 - 18 中研R&D 3 放送・通信を融合する
ハイビジョン1000チャンネル時代を開く
……次世代光ネットワーク技術
池田博樹／親松昌幸
 - 21 中研R&D 4 “センサネット”を創る
ヒトを測り、行動に変化をもたらす
……リストバンド型センサノード 矢野和男
 - 24 [年表]日立・中央研究所1942→2007
- 26 technobscure 8
Andreas Gursky Greeley 2003
- 28 永瀬唯のサイエンス・パースペクティブ 8
電子顕微鏡——進化し続けるナノの眼
- 33 ダントツさんが行く! 7
掃除機
- 34 技術の日立 今昔 4
ビデオカメラ